

本校3年生と東京大学大学院生との交流会！～キャリア教育～



9月30日（金）本校体育館で、キャリア教育の一環として、3年生と現役東京大学大学院生の
大庭 梓さんと笹澤 恵さんとの交流会を実施しました。これは、昨年、大庭さんが卒業論文を書く
ために本校を訪れ、授業を参観したことがきっかけとなって実現したことです。

この活動は、本校生徒が大学院生との交流を通して、自分の進路について主体的に考え、その意欲
が高まること、また、義務教育を終えても学び続ける学生の話から、生涯において学ぶことの大切さ
や楽しさに気づけるようにすることをねらいとして行いました。

今回は、初めての東大大学院生の出会いと言うこともあり、お二人のプロフィールを説明した上で、
事前に伝えておいた下記のような3年生からの質問に答えていただく形で交流を深めました。

中学生の頃はどんな生徒だったの？

- 勉強について
 - ・授業を最大限活用する
 - ・「自分に必要な情報だけ」のまとめノートを作る
 - ・色んな人を頼る（教えてもらう、添削してもらう、一緒に勉強する）
- 学校生活について
 - ・学級委員、文化祭の出し物
 - ・合唱コンクールのピアノ伴奏



集中力・モチベーションの保ち方

- ・勉強する場所・環境を整える
（図書館など人のいる場所、気が散るものがない場所など、集中できる場所）
- ・記録をつける
（勉強した内容、勉強時間など）
- ・受験勉強が嫌になってしまった時…
→人に話す、体を動かす、寝る、高校生活をイメージする
- ・「メリハリ」をつけた勉強の仕方を！



最後にお二人が話してくれた次の話がとても印象に残りました。

「東大に合格する子は、何か特別の勉強をしているんじゃないかとよく言われるんですが、全然そんなことはなくて、もちろん、中には宇宙人のような特殊な子はいますけど、それはほんの一握りの人であって、ほとんどの東大生は、普通の中学生や高校生が教科書に載っていることをしっかりと覚えて、こつこつと勉強を続けた結果、合格した子ばかりなんです。こつこつと積み重ねて頂点を極めることが大切なんじゃないかと思います。」

今後も交流会を予定していますが、3年生が自分の進路について意欲的に考えるきっかけや参考になればと思います。